

# G3 のツITTER その51

## 烈剛河内 竹井 保満

7月の季語の花に夾竹桃があります。

何でも印度が原産地だそうで日本に定着してからは、寒さにも強く公害にも強いので街路樹や高速道路のわきに植えられています。枝を切ったり、折ったりすると白い液が出ますが、これに猛毒が含まれているということで、庭木にはあまりしません。オレアンドリンと言う猛毒が含まれているそうで、オレアンドリンの含まれた白い液に素手で触れるのは危険な事だそうです。

猛毒とは知らなかった私は、綺麗な葉や花に魅せられて色々な種類の夾竹桃を集めました。葉に色々な模様があるもの、ピンク系の花は八重や一重、燃えるようなオレンジ色や黄色、そして、緑の葉とは対照的な深紅や純白と、同好者も多く居られ交換して庭に植えて楽しめました。

その庭や家とも分かれなければならない事態になりました。

自慢の精神も肉体も疲れきりました。認知症の老妻を有料老人ホームに預け、毎日の様に見舞いに行き、一方で家事全般を遣りながらジムに通うのは、経済的にも精神的体力的にも疲れしました。そのような事情でよくよく考えた末に、二人部屋の有料老人ホームに入ることに決定しました。

また、認知症の老妻と暮らすのは大変な忍耐の要ることですが、ヘルパーさんの力を借りて、何とか、やっていきたいと考えています。幸いなことにこのホームは土地の条件に恵まれており、昔の第一級国道こと竹ノ内街道、熊野詣でで有名な東熊野街道の交差点が眼下に見下ろせる標高299メートルの高台にあります。古市古墳群の中心地で御陵も緑のおにぎりのように眼下に散在します。私の大好きな山々も、弓削りの道鏡が修行したと言い伝えられる金剛葛城山も望まれ、大津の王子の悲話の二上山も指呼の間です。

60年も住んだ家から小さい部屋への住み替えなので、下手な多趣味で人様から見れば無価値な物が捨てられず断捨離の難しさを知りました。右肩の手術後一ヶ月なので左手だけでなんとか引越しが出来ました。

これからは何とか自分の時間を作って、スポーツと趣味を取り戻す様に努力するつもりです。